

宮古島市基本理念

心かよう夢と希望に満ちた島 宮古 みゃーく

～みんなで創る 結いの島～

本市は、平成17年の5市町村(平良市・城辺町・下地町・上野村・伊良部町)の合併により、新生「宮古島市」が誕生し、「こころつなぐ 結いの島 宮古(みゃーく)」を将来像に掲げ、「結い」が表現する相互扶助精神のもと、市民とともに歩みを進めてまいりました。

現在、人口減少社会の到来や地方分権の進展など、本市を取り巻く社会情勢は大きく変化しています。これからのまちづくりは、本市に関わる全ての人々の知恵や発想を最大限に引き出しながら、特色のあるまちづくりをさらに進めて行くことが求められています。

このことから、第2次総合計画では、「心かよう夢と希望に満ちた島 宮古 みゃーく ～みんなで創る 結いの島～」を基本理念に掲げ、本市の豊かな自然や温かい人の繋がりの地域特性を活かしながら、文化、環境との調和を図り、新たな島としての魅力や誇りを再確認することで、夢と希望にあふれた活力ある島を創っていきます。

基本目標

- 基本目標1 地下水や豊かな自然環境と共生したエコアイランド宮古 みゃーく
- 基本目標2 子どもたちが笑顔にあふれ活力と郷土愛に満ちた宮古 みゃーく
- 基本目標3 一人ひとりが支え合い幸せと潤いのある健康福祉の宮古 みゃーく
- 基本目標4 島の特色を活かした産業の振興、多彩な交流・活力にあふれる宮古 みゃーく
- 基本目標5 安全・安心で快適な暮らしが持続する宮古 みゃーく
- 基本目標6 市民との協働により夢と希望に満ちた島、宮古 みゃーく

Miyakojima city was born in 2005 by the merger of five municipalities: Hirara city, Gusukube town, Shimoji town, Ueno village and Irabu village. Currently, the social situation of Miyakojima has brought Miyakojima great changes such as a declining population and decentralization. In the future, it will be required to promote distinctive community development with the wisdom and ideas of all people involved in Miyakojima city.

Reaffirming the charm and the pride of the island, we have set six basic goals to create the new dynamic island of hopes and dreams.

1. To make an Ecological Island coexisting with groundwater and a rich natural environment
2. To make Miyako Island filled with vitality, hometown love and the smiles of children
3. To make Miyako Island residents' lives filled with happiness and enrichment by supporting each citizen
4. To make Miyako Island promote the industries making full use of the characteristics of the island, with diverse exchanges and full vitality
5. To make Miyako Island maintain safe, secure and comfortable living
6. To make Miyako Island filled with dreams and hopes through collaboration with the citizens



行政



宮古島市 市長
座喜味 一幸



宮古島市 副市長
伊川 秀樹



宮古島市教育委員会 教育長
大城 裕子

5つの市町村がそれぞれ育んできた風土や伝統、振興策を引き継ぎ「心かよう夢と希望に満ちた島 宮古(みゃーく)」の理念の基、島の特色を活かした産業と豊かな自然が調和し、人々が支え合う安全・安心で快適な暮らしが持続する島づくりに取り組んでまいります。

議会

市議会は市の行政のあり方について審議・決定する機関で、市民より選出された24人の議員で構成されています。

年4回の定例会をはじめ、必要に応じて臨時会が開かれています。より専門的な審査を行うため「予算決算委員会(3月、9月)」「総務財政委員会」「文教社会委員会」「経済工務委員会」と、議会運営を円滑に行うために「議会運営委員会」が設置されています。

議 長



上地 廣敏

副 議 長



長崎 富夫



久貝 美奈子



下地 茜



砂川 和也



狩俣 勝成



富浜 靖雄



下地 信男



新里 匠



狩俣 政作



山下 誠



池城 健



上地 堅司



仲間 誉人



平良 和彦



下地 信広



我如古 三雄



前里 光健



西里 芳明



友利 光徳



上里 樹



栗国 恒広



平良 敏夫



山里 雅彦



エコアイランド宮古島宣言 2.0 千年先の、未来へ。

～いつまでも住み続けられる豊かな島を目指して～

エコアイランド宮古島宣言

- 1、私たち市民は、島の生活を支えるかけがえのない地下水を守ります。
- 1、私たち市民は、美しい珊瑚礁の海を守ります。
- 1、私たち市民は、みんなの知恵と工夫で、限りある資源とエネルギーを大切にします。
- 1、私たち市民は、ゴミのない地球にやさしい「美ぎ島宮古島」を目指し一人ひとり行動します。
- 1、私たち市民は、緑・海・空を守り、すべての生物が共に生きていける環境づくりのため行動します。
- 1、私たち市民は、よりよい地球環境を取り戻し・守るため、世界の人々とともに考え・行動し、未来へバトンタッチします。

宮古島市は、地下水の保全や資源循環型社会の構築など、環境に配慮した島づくりを目指し、平成20年3月31日「エコアイランド宮古島」を宣言しました。四方を海に囲まれた海拔の低い平坦な島は、台風や干ばつの影響をダイレクトに受けやすい環境下にあり、これまで、自然災害や地下水の汚染など数々の危機を乗り越えてきました。今後は観光客の急増や激甚化する災害、エネルギー問題など、新たな危機が懸念されます。千年先も、変わらず当たり前前の暮らしがあるために、今できることをすることから。市民一人ひとりが参加するエコアイランド活動を推進しています。



宮古島市の課題

環境保全

ライフスタイルの変化や産業経済活動の活発化に伴い、自然環境への負荷が大きくなっています。生活の源である地下水や、宮古島の観光資源でもある自然環境の保全に取り組むことが必要です。

資源循環

離島県である沖縄県のさらに離島に位置する宮古島では、食料、エネルギーの資源を島外に依存している現状から、地産地消による資源循環に取り組むことが必要です。

産業振興

観光を中心に地域経済が好調に推移している中、その効果を広く市民全体に波及させる雇用を創出するため、新たな仕組みづくり等による産業の振興を図ることが必要です。

Eco Island

市民みんなでちょっとエコ活！

エネルギーの効率的な利用

エネルギー資源の多くを島外に頼る宮古島市の状況ですが、太陽光発電設備の低価格化が進んでいることから、安価な再生可能エネルギーを効率よく利用するための試みが進められています。

電力は、つくる量と使う量が常に均等でなければならない、安い太陽光発電が大量に導入された場合、発電量が変動するためバランスを調整する必要があります。そこで IT を活用し家庭等の設備の制御を行うことで、バランス調整するための実証を行いました。

再生可能エネルギーの大幅な導入を可能にすることによって、宮古島のエネルギー自給率向上や温暖化対策を進めています。



「エコ活クーポン」 理想通貨でエコな島を

この島にいいコトをした人に、ちょっといいことで返す仕組み。ビーチクリーンやエコに関わる活動に参加するともらえる理想通貨を発行。その通貨で、島内のエコ活協力店が提供するサービスが受けられるという取り組みが始まっています。

せんねん祭

「千年先の、未来へ。」私たちが暮らす宮古島市の持続可能な未来の実現に向けたアイデアを持ち寄り、投票を経て具体化していくイベントです。



エコアイランド宮古島WAON

民間事業者の地域貢献事業として、利用金額の一部が市のエコ活動に役立てられる電子マネーが発行されています。

誰もが日常の暮らしの中で、気軽にエコ活動を支援できる試みです。



ふるさと納税

宮古島市のふるさと納税では、「エコアイランド宮古島応援コース」をご用意。地下水の水質調査・植林・公園の管理などに活用し、島の美しい自然を守りたいという方々の想いに応えます。

Since Miyakojima City is flat and surrounded by the sea on all sides, we have faced the dangers of natural disasters such as typhoons, droughts, and groundwater pollution, but we have overcome these problems each time. Although there are still concerns about new crises such as the rapid increase in tourists, the increase in disasters, and energy problems, we will exchange various ideas such as an eco-activity coupon, Miyakojima's original currency, and promote activities to create a sustainable and feasible ecological island together with the citizens for the purpose of keeping our lives safe for the next millennium.

育む 笑顔と活力と郷土愛に満ちる島

宮古島市では「郷土の自然と文化に誇りを持ち、心豊かで創造性・社会性・国際性に富む人材の育成と生涯教育の振興」を教育ビジョンとして定め、学校教育の充実や、生涯教育、スポーツや文化振興、国際交流を推進しています。

学校教育 子どもたちの「生きる力」を育む学校教育



宮古地区中学校総合文化祭



ICT (情報通信技術)を活用した授業。

生涯教育

いつでも、どこでも、だれでも学べる場の創出



生涯学習フェスティバルで公民館活動の成果を展示。



宮古島生涯学習フェスティバル



伝統の追い込み漁体験



文化芸術活動

郷土の歴史・民俗の伝承と文化・芸術活動の推進



宮古島市総合文化祭で市民の芸術活動の成果を展示。

文化財保存・活用

文化財の紹介を中心に、地域の歴史や文化をわかりやすく読み解いたガイドブック、綾道シリーズを発行しています。既刊に平良北コース、平良南/松原・久貝コース、下地・来間コース、宮国・新里コース、伊良部島コース、戦争遺跡編、砂川・友利コース、四島・西辺コース、城辺東・北コースがあり、下地南・上野野原コースの発刊も予定されています。



The welfare of the island is to support each other with the bonds among people. We are doing our best for the realization of a community that will make it possible for all people to keep living in the family and community with the dignity of people cooperating with the administration, civil welfare organizations and a wide range of local companies.

支える 一人ひとりが支え合い幸せと潤いのある健康福祉の宮古

子育て

安心して子育てができる環境づくり

安心して子育てができるよう、子育て世代に配慮した様々な取り組みを推進しています。待機児童の解消や児童虐待の防止も重要なテーマと捉え取り組んでいます。

生きがい

高齢者が生きがいを持って暮らせる環境づくり

高齢者が地域の中で生きがいを持って暮らし続けられるよう、医療、福祉、介護、生活支援を一体的に提供できる「地域包括ケアシステム」の構築を実現できる環境づくりを進めてまいります。



すべての子どもたちの健やかな暮らし

将来を担う子どもの貧困解消へ向けた環境づくり

子どもの居場所づくりなど（食事の提供、生活指導、学習支援、キャリア形成支援など）具体的なアクションを通じて、将来を担う子どもたちの夢を叶え、明るい未来を築くために、必要な支援・環境づくりに努めています。



障がい者福祉

障がい者が自立して暮らせる環境づくり

地域の実情や障がい者一人ひとりのニーズに応じた生活支援の充実を図り、住民相互の支え合いを育み、地域共生社会の実現に努めます。

地域福祉

人と人とのつながりで支える地域福祉の推進

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、市民一人ひとりが積極的に地域活動に関われるきっかけづくりや、活動の中心となるキーパーソンへの支援、さらに担い手の確保・養成を図り、みんなで支え合う地域の福祉力向上に取り組んでいます。



健康な暮らし

健やかな生活を支える健康づくりの推進

みんなが健康で長生きできる社会を目指し、生活習慣病の予防と早期発見、そして健康づくりの場を提供しています。

安心の医療

難病患者等への支援

島外の医療機関での治療を必要とする難病患者等に、その渡航費等の一部を助成することにより、通院及び入院を余儀なくされている難病患者等の経済的負担を軽減する支援を行っています。

宮古島市総合型防災情報システム概要



主操作局（市役所総合庁舎）
副操作局（消防本部）
放送拠点 132 か所
防災監視カメラ 8 か所

戸別受信機（避難所等）120 か所
防災ラジオ（福祉施設等）200 台

In addition to the distribution system for reliable information transmission to citizens, the Miyakojima City Comprehensive Disaster Prevention Information System has significantly enhanced the information gathering system and a system that enables prompt decision-making support through information sharing.

市民への確実な情報伝達を目的とした配信系システムに加え、情報収集系の充実と、情報共有による迅速な意思決定支援を可能としたシステムにより大幅な機能強化を実現しました。



図書館と公民館の機能を併せもつ生涯学習拠点施設 宮古島市未来創造センター Miyakojima Central Library & Comimunty

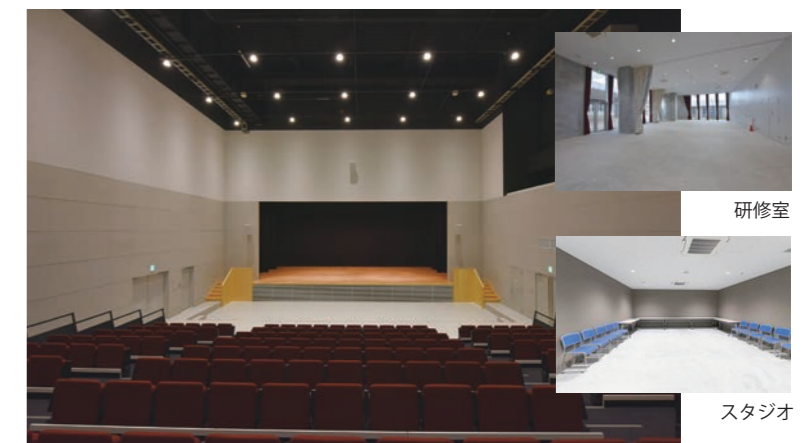
「市民に開かれた情報センター」である図書館と「多様な学習機会を提供する島づくりの拠点施設」である中央公民館が一つになりました。子供から高齢者まですべての市民や観光客が気軽に集い、地域の活性化や暮らしに役立つ『文化の殿堂』としての生涯学習拠点施設です。



図書館



- | | | | |
|-----------------------------|---|--|---|
| 1F
事務エリア
郷土エリア | 2F
一般エリア1
こどもエリア
おはなしのへや
CD・DVD/保育資料 | PCコーナー
雑誌コーナー
ブラウジングコーナー
新聞コーナー
喫茶コーナー | 3F
一般エリア2
ティーンズコーナー
学習室 |
|-----------------------------|---|--|---|



- 中央公民館**
- 多目的ホール
 - 公民館事務室
 - 研修室
 - 調理室
 - 和室
 - スタジオ 1,2,3
 - 市民ギャラリー (2F)

The library, an information center open to the public, and the central public hall, a base facility for creating islands that provide diverse learning opportunities, have been integrated into one facility. As a "Cultural Hall", it is a lifelong learning base facility where all citizens and tourists, from children to the elderly, can feel free to gather and help revitalize the region and daily life.

住所: 〒906-0007 沖縄県宮古島市平良字東仲宗根807番地 図書館/TEL.0980-72-2235 FAX.0980-73-1136 公民館/TEL.0980-73-1123 FAX.0980-73-1136